

若葉総合高等学校 令和5年度 教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科： 外国語 科目： 論理・表現 I 単位数： 2 単位  
 対象学年組： 第1学年 A組～ F組  
 教科担当者： (E: 藤村陽子) (A, D, F: 熊井小枝) (B, C: 若井康博)  
 使用教科書： BIG DIPPER

教科	外国語	の目標：	「情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力」を育成すること
【知識及び技能】	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。		

科目 論理・表現 I の目標： 英語学習の特質を踏まえ、三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」を中心とした発信能力を育成すること

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合う技能を身に付けるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して論理の構成や展開を工夫して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
Part1 Lesson1～4 英文の基本構造 【知識及び技能】 ・主語＋動詞の構造、動詞の用法、名詞・冠詞の用法、否定文や疑問文を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝えたい内容を適切な英語で伝えることができる。 ・日常行うことや、友人など身の回りの人、物事について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組む姿勢があり、英語の基本的な構造を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・主語＋動詞の構造 ・基本的な動詞の用法 ・名詞・冠詞の用法 ・肯定文、否定文、疑問文 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人1台端末の活用	○	○		【知識及び技能】 主語＋動詞の構造を理解した上で、日常的に用いられる日本語の言い回しについて、英語でどのような動詞を用いるのかを理解している。名詞の性質や冠詞の用法を理解した上で文を作ることができる。英語で肯定、否定を表す分野、疑問文にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主語＋動詞、動詞や名詞・冠詞の用法・肯定文や否定文の使い方を理解し、適切に表現できる。 ・身近な場面において正しい英文の構造で言いたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。				8
Part2 Lesson1～2 Shool 【知識及び技能】 ・英語で勧誘、提案、依頼の聞き方や理由の聞き方、述べ方の表現を理解できる。 ・学校生活や教科について英語の表現方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・英語で勧誘、提案、依頼を行い、理由を聞く、述べることができる。 ・学校生活や教科について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・勧誘、提案の表現→Would you like to ～?, Let's ～, Shall we ～?, Why don't we ～?, How about ～? ・依頼、理由の表現→Will you do me a favor?, Can you ～?, Could you (please) ～?, Why ～?, Because... 〔他〕 ・一人1台端末の活用		○		【知識及び技能】 ・英語で「勧誘」「提案」をするにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・英語で「依頼する」「理由を聞く・述べる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「勧誘」「提案」「依頼する」「理由を聞く・述べる」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・学校生活についての表現を習得しようとしている。				2
定期考査						○	○		1



<p>Part1 Lesson8～9 助動詞</p> <p>【知識及び技能】 ・能力・許可・医療・必要・義務・過去についての推量・後悔などを適切な土壌氏を使って英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・先生や学校での生活、催し物や行動などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・助動詞 can, could, may, must, have to, should, shall, will, would, used to 【教材】 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用</p>	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・「可能」「許可」「推量」「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔」といった各表現を正しく理解し身近な人に対して依頼したり、提案や必要などを伝えたり、過去の行動や状況などを推測したりして、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、助動詞 can, could, may, must, have to, should, shall, will, would, used to といった各表現を用いてコミュニケーションをとることができる。 ・「可能」「許可」「推量」「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔」に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・助動詞による丁寧さの違いを認識して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを行おうとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>Part1 Lesson10 文型</p> <p>【知識及び技能】 ・「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有名人などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・SV、SVC、SVO、SCOO、SVOC 【教材】 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用</p>	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・SVC、SVOを正しく理解し、適切な場面で表現する技能を身に付けている。 ・SVOO、SVOCを正しく理解し、適切な場面で表現する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第1文型から第5文型を用いて身近な人や場面で適切に表現し、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・各文型の役割や意味を理解し、特徴を踏まえたうえで身の回りの出来事について表現しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>Part1 Lesson11 受け身</p> <p>【知識及び技能】 ・「～される」「～に満足している」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読書や感情に関連する事柄などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・be動詞＋過去分詞(+by～)、be動詞＋not＋過去分詞 ・助動詞＋be動詞＋過去分詞、be動詞＋being＋過去分詞、have been＋過去分詞 【教材】 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 【他】 ・一人1台端末の活用</p>	<p>○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・建物などの説明、オンラインショッピングなどの場面で、受け身の表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、be動詞＋過去分詞(+by～)、be動詞＋not＋過去分詞、助動詞＋be＋過去分詞、be動詞＋being＋過去分詞、have been＋過去分詞を用いて「受け身」の意味を表現する。 ・「受け身」の意味に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・「受け身」を使用するのが適切な場面や状況を理解して、コミュニケーションを図ろうとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>Part2 Lesson6～9 Feelings and plans</p> <p>【知識及び技能】 英語で期待・確信・謝罪・計画・予定・感想を述べるができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットに関して英語で表現できる。 ・失敗したことなどについて英語で表現できる。 ・旅行や休日の計画を英語で表現できる。 ・旅行などでの経験について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</p>	<p>【指導項目】 ・期待、確信の表現→can't wait to, look forward to, be certain[sure] ・謝罪の表現→I'm sorry ～, Excuse me for ～, etc. ・計画・予定の表現→be planning to, be going to, be thinking of ・感想→How did you like ～?, I found it ～, My best experience was ～ 【他】 ・一人1台端末の活用</p>	<p>○</p>	<p>【知識及び技能】 ・英語で「期待」「確信」「謝罪する」「謝罪に応じる」「計画」「予定」「感想を尋ねる・述べる」を述べるにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・インターネットの使用、自分や他人の失敗、旅行や休日の過ごし方、旅行などでの経験について、コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 「期待」「確信」「謝罪する」「謝罪に応じる」「計画」「予定」「感想を尋ねる・述べる」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・「スマートフォンの適切な使用」「謝罪のときに気をつける点」「個人での旅行とグループでの旅行のどちらがよいか」「外国への旅行について、どこに行ったら何がしたいか」などの話題に対して、自分の意見やその理由などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・インターネットの歴史や、長所・短所、自分の過失、計画、旅行での経験などを述べる表現などを習得しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>5</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>

2 学期	<p>Part1 Lesson12～13 to不定詞</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現できる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・希望や目標、物事を行う方法、助言や頼み事などについて英語で表現できる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</li> </ul>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・to不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法</li> <li>・原形不定詞</li> <li>【教材】</li> <li>・STOCK</li> <li>・レッスンブック</li> <li>・ワークブック</li> <li>【他】</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	○ ○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～するために」「～して」「～すること」といった表現方法を理解して、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> <li>・to不定詞と原形不定詞の違いについて理解し、適切に表現できる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・適切な場面において、S+V+to不定詞の構文を用いて「願望」「使役・許可」「命令・指示・依頼」などの意味や、S+V+to+原形不定詞の構文を用いて「…が～するのを見る(聞く)」などの意味を表現する。</li> <li>・to不定詞や原形不定詞の用法に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・「目的」「原因」「判断の根拠」となる行為や、SV+to不定詞であらわされる行動の内容を述べる表現を習得しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○	5
	<p>Part2 Lesson10～11</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で程度・結果・願望・目的を述べるができる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・人の性格や特徴、職業などについて英語で表現できる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</li> </ul>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・程度・結果→so～that…、～enough to do</li> <li>・願望・目的→What do you want to do?, in order to do, would like to do, so that～, have a dream of doing</li> <li>【他】</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	○ ○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で「程度・結果を述べる」「願望」「目的」にはどのような表現を用いるのかを理解している。</li> <li>・人の性格や特徴、将来の職業などについて、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・「程度・結果」「願望」「目的」の意味に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。</li> <li>・「交換留学生の友人への紹介」「交換留学生へのもてなし」「将来の職業」などの話題に対して、自分の意見・理由などを正しく伝える。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・職業などを示す語句や、それに必要な資質を述べる表現などを習得しようとしている。</li> <li>・人の性格や特徴などを示す語句や、人を紹介する際の表現などを習得しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○	3
	<p>Part1 Lesson14～15 現在分詞</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「～している」「～しに行く」「～しているのを見る」などを英語で表現できる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・休職での出来事などについて英語で表現できる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</li> </ul>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SV+～ing、SV+分詞</li> <li>【教材】</li> <li>・STOCK</li> <li>・レッスンブック</li> <li>・ワークブック</li> <li>【他】</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	○ ○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」「～しているのを…する」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのかを理解している。</li> <li>・趣味や幼いころの思い出、情景などについて、分詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・適切な場面において、現在分詞、過去分詞を用いて、それぞれ「～している…」「～された…」と名詞を説明する表現を行う。</li> <li>・適切な場面において、SV+分詞の構文を用いて「～しながら…する」などを、SV+分詞の構文を用いて「人が～しているのを…する」などを表現する。</li> <li>・現在分詞、過去分詞に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・分詞の後置修飾や、SVC、SVOCで表8限される内容の語彙などを取得しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○	5
	<p>Part2 Lesson12～13 Sympathy and gratitude</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で同情・共感する、励ますことができる。</li> <li>・英語で感謝・喜びの気持ちを述べることができる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・悩みごとについて英語で表現できる。</li> <li>・送別の場面などについて英語で表現できる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</li> </ul>	<p>【指導項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同情・共感→What's bothering you?, I'm very sorry to hear～, Is everything all right?, etc.</li> <li>・感謝・喜び→Thanks a lot for～, I'm glad～, etc.</li> <li>【他】</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	○ ○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で「同情・共感する」「励ます」「感謝」「喜び」にはどのような表現を用いるのかを理解している。</li> <li>・悩みごとなどについて、「同情・共感する」「励ます」などの表現を含めて、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> <li>・送別の場面や、その他の日常の行為において、「感謝する」「喜ぶ」などの表現を含めてコミュニケーションを図る技能を身に付けている</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・「同情する」「励ます」「感謝」「喜び」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。</li> <li>・「励まされた経験」などの話題に対して、自分の経験や考えなどを正しく伝える。</li> <li>・「自分が感謝すべき人」「贈り物の包みをその場で開けるか」などの話題に対して、自分の意見や理由などを正しく伝える。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・自分の過失や不幸な出来事やを述べる表現などを習得しようとしている。また、学校生活の思い出や親切な行為を述べる表現などを習得しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○ ○ ○	3
定期考査					○ ○ ○ ○ ○	1

<p>Part1 Lesson16~17 比較</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つのものを比べて、「同じくらい〜」「より〜」ということを英語で表現できる。</li> <li>・「最も〜」「2倍の〜」などを英語で表現できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の特徴や人の行動について、他と比較して英語で表現できる。</li> <li>・学校での活動などについて、他と比較して英語で表現できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</li> </ul>	<p>〔指導項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較級</li> <li>・最上級</li> </ul> <p>〔教材〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・STOCK</li> <li>・レッスンブック</li> <li>・ワークブック</li> </ul> <p>〔他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較級、最上級表現を理解して、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> <li>・数量の比較や自分の嗜好・価値観などの話題について、比較表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> <li>・学校での活動や図表の内容に関して、比較表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの事象について、&lt;as+原級+as&gt; や &lt;not as+原級+as&gt; を用いて「同じくらい〜である」や「…ほど〜でない」の意味を、&lt;比較級+than&gt; を用いて「…より〜である」の意味を表現する。</li> <li>・適切な場面において、最上級を用いて程度が最も高いことを表現する。また、それに伴い、比較の範囲や対象を表したり、序数詞を用いて「何番めに〜である」と表現したりする。</li> <li>・適切な場面において、&lt;as ~ as&gt; の構文を応用して、「2倍の〜」や「できるだけ〜」といった内容を表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・同等比較や比較級を用いての比較でよく用いられる語彙、最上級、倍数表現、&lt;as ~ as one can&gt; でよく用いられる語彙などを習得しようとしている。</li> </ul>		5
<p>Part1 Lesson18~19 関係詞</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「〜する人/物」「…が〜する人/物」などを英語で表現できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近所の人などについて、簡単な説明を加えて英語で表現できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</li> </ul>	<p>〔指導項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞</li> </ul> <p>what, who, which, where, when</p> <p>〔教材〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・STOCK</li> <li>・レッスンブック</li> <li>・ワークブック</li> </ul> <p>〔他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	○ ○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係代名詞を用いて名詞を説明する表現や、関係代名詞 what や関係副詞を用いて「〜すること、〜するもの」、「〜する場所〔時、理由、方法〕」という意味を英語で表現するにはどのようにすればよいかを理解している。</li> <li>・家族・知人や身の回りの物、自分のほしいもの、四季のうち1つ、自分が過ごしてみたい国などについて、関係代名詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な場面において、関係代名詞を用いて、「人」や「物・事」を、また関係代名詞 what を用いて、「〜すること、〜するもの」や、「いわゆる」「さらに〜なことには」の意味を表現する。先行詞と関係詞節内での動詞の呼応に注意する。</li> <li>・関係詞を省略する場合や、先行詞が前置詞の目的語にあたる場合に注意して表現する。</li> <li>・適切な場面において、関係代名詞 what、関係副詞 where、when などを用いて、場所・時などについて表現する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・知り合いや身の回りの物品を説明する場合の語彙などを習得しようとしている。</li> </ul>		5
<p>Part2 Lesson14~15</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で賛成・反対、意見を尋ねる・述べるができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題、社会問題について英語で表現できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。</li> </ul>	<p>〔指導項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成・反対→ agree with, be in favor of [against] ~, etc.</li> <li>・意見を訪ねる・述べる→How do you feel about ~?, etc., It seems to me that ~, etc., In my opinion, ~, etc.</li> </ul> <p>〔他〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語で「賛成する」「反対する」「意見を尋ねる・述べる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。</li> <li>・環境問題、社会問題などに関して、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「賛成する」「反対する」「意見を尋ねる・述べる」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。</li> <li>・社会問題や、プレゼント・行楽などの話題に対して、自分の意見や理由などを正しく伝える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。</li> <li>・賛成・反対の意見を述べるときは、claim and reasoning (主張と理由づけ) を明確にする発言の仕方を習得しようとしている。自分の意見を述べるときは、説得力を持たせるために適切な理由を添えて述べる点を習得しようとしている。</li> </ul>	○ ○ ○	3
<p>定期考査</p>				○ ○	1

3学期